

ジャパン・レターアーツ・フォーラム主催ワークショップ

レターカッティング入門 経験者（２回目）コース

■ 講師 ゴードン恵美

■ 会場

●大阪会場 弁天町市民学習センター 美術室（大阪市港区）

<http://www.osakademanabu.com/bentencho/>

●東京会場 勤労福祉会館 工芸室・美術室（豊島区池袋）

http://www.toshima-mirai.jp/center/e_kinrou/page.html

■ 開催日時

大阪 2012 年 7 月 14 日（土）～ 7 月 16 日（月・祝）

東京 2012 年 7 月 20 日（金）～ 7 月 22 日（日）

レッスンの時間 両会場共に 10:00 ～ 16:30

■ 参加費 32,000 円（追加の石を希望の方は別途お申込みください）

■ 定員 各会場につき 15 名

大阪・東京いずれの会場でもご参加いただけますが、クラス内での相乗効果を考慮しますと、東京会場へのご参加をお勧めいたします。

■ 申込方法

e-mail のみの申込みとし、必要事項を記入したメールを下記アドレスにご送信ください。パソコンからのメール受信可能な状態であれば、携帯電話のメールでの申込みも可能です。

1) 件名に、「ゴードン恵美 WS 東京会場」又は「ゴードン恵美 WS 大阪会場」と記入して下さい。

2) 本文に、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、連絡を希望するメールアドレス、

「経験者（２回目）」と明記して、選択した宿題の番号を記入。

*お申込みにお送りいただいたメールには自動返信メールが送信されます。届かない場合にはご連絡ください。

■ 申込締切日 5月27日(日)

但し、定員に空きがある場合には、その後の申込みも受付けます。空きの有無は J-LAF ウェブサイトでお知らせします。 <http://j-laf.org/>

■ 送信先 workshop@j-laf.org (WS に関する質問、ご意見もこのアドレスまで)

■ 持ち物

レイアウトパッド、ペーパータオル 1 ロール、カッターナイフ、HB の鉛筆 2 本、カラランダッシュ(CARAN d'ACHE) 社の水彩用色鉛筆の白を 2 本、(入手できない場合は、日本製の水彩用鉛筆でもかまいません) 定規、三角定規、セロテープ、マスキングテープ、白または黄色のチャコペーパー(文字を石に写すため) 1 枚、エアパッキンまたはプチプチの包装用ビニール(石を保護するため) 100 cm x 100cm を 2 枚、シャコ万力 x 2 最大口開きが 100 mm (または B 型クランプ <http://www.monotaro.com/c/027/117/>) 紙ヤスリ(耐水サンドペーパー)、鑿(チズル)、ダミー(ハンマー)

■ ゴードン恵美 プロフィール

1995 年にカリグラフィーを東京で習いはじめる。翌年、トーマス・イングマイヤー氏のワークショップを受け、海外でカリグラフィーを学ぶ事を決意する。2 年の準備期間を経て、97 年に渡英、98 年にローハンプトンのカリグラフィー・ディグリー(学位)コースに入学する。2001 年にこのコースを卒業後、2002 年にケンブリッジにあるレターカッティング工房であるカードゾ・キンダスリー・ワークショップ(Cardozo Kindersley Workshop)に入門する。2006 年に長女出産のため退職するまでの 4 年半勤務する。現在は独立してレターカッティングとカリグラフィーの仕事続ける。2002 年、CLAS の Brian Walker 賞受賞、同年から 2004 年まで SSI の Advanced Training Scheme のコースに参加。その他多数のカリグラファー、レターカッティングのワークショップやレクチャーに参加。

■ クラス概要 (経験回数によって、課題・宿題の内容が異なりますのでご注意ください)

石に手彫りで字を彫るレターカッティング "Letter Cutting" (またはレターカービング "Letter Carving" と呼ばれる) は、現在も英国国内だけではなく、ヨーロッパの国々で続けられている伝統工芸です。この入門コースではヴィーカット "V-Cut" と呼ばれる彫り方で文字を彫ることを学びます。このヴィーカットは、ローマ帝国時代に既にその手法が確立され、当時の碑石に使われていたローマキャピタルの文字のほとんどはこの彫り方で彫られています。

イギリスではエドワード・ジョンストン（1872－1944）の教え子だったエリック・ギル（1882－1940）がそのローマ時代の伝統的手法を彼の石碑の作品に多用し、彼のワークショップで培われたレターカッティングの精神、技術、そして教法は彼の弟子達を通じて今なお多くの職人の中に息づいています。この入門コースはそのギルの弟子であったデービッド・キングスレー（1915－1995）の教法で主に進められます。

また、コース内では文字のレターフォーム、デザイン等を参加者同士で検討し合うクリティーク（Critique）と呼ばれるローハンプトン大学で採用されていた教法を導入し、生徒それぞれの作品をさまざまな側面から向上を目指すとともに、作品作りにおける生徒の自発性を伸ばしていきます。

■ 経験者 2 回目 コースの概要

前回のワークショップでの経験を踏まえ、文字の細部に注意しながら文字を彫る作業に集中します。前回のワークショップの時間内にデザインが完了していなかった生徒さんはデザインを終了し、石にデザインを転写する作業後、作品となる石を彫り始めます。また、彫られた文字への彩色、装飾技術をお見せします。

■ 経験者（2回目）コースの目的

道具と石に対しての繊細な感覚を養います。文字に対しても同様に細かい部分に気をつけながら全体の作品としての完成度を高めます。また、デザインの基本的要素もクリティーク内で検討し、作品の向上につなげていきます。

■ 経験者（2回目）コースの内容

- 1 日目 デザインのクリティーク後、デザインを石に転写し、彫り始める
- 2 日目 彫りが完成した生徒さんは、装飾の作業
- 3 日目 仕上げとクリティーク

■ 今回使う石の大きさ

15 x 15 x 2 cm または、10 x 22.5 x 2 cm

■ WS 当日までの宿題

以下の3つの中から1つ選択してください。

1. 宿題なし。前回のワークショップで下書きしてから、全く、もしくはあまり彫り進んでいないので、ワークショップでは前回の石を持参して彫るのを続けたい。

2. 15x15cmの石に自分の好きな、もしくは彫ってみたいローマンキャピタル1文字(平筆、もしくはカリグラフィーペンを使って書いた文字をベースにする事)を書いてくる。また、この文字の周囲に飾りをつけたいと思います。以下の2つのパターンのうちから1つを選択して、それを含めてデザインして下さい。

パターン1：ボーダーライン 最もシンプルなVカットのライン。

パターン2：ベベル(Bevel) これはパターンというよりも、石の角を落とし、装飾とした彫り方です。

3. 前回同様、自由作品をドローイングしてくる。

その際、石の大きさ(15x15x2cm または、10x22.5x2cm)を選択してデザインしてください。もちろん、宿題2の飾りを含めたデザインをしてきてもかまいません。

新たに石を購入希望の方は、希望のサイズをお知らせください。ただし、石に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。ご了承ください。

■ 道具貸し出し

道具をお持ちでない方には、鑿とダミーと呼ばれるハンマー、そして鑿を研ぐための砥石は貸し出しいたします。ワークショップ終了後にお持ち帰りになりたい方には、鑿とダミーについては、実費にて(2つ合わせて約1万5千円)お分けできます。

* 参加者決定方法やキャンセルに関する詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://j-laf.org/>